

# 社 内 ニ ュ ー ス

## TOPICS

### ステンレス製化工機生産を播磨に集約

#### Production line of stainless steel products concentrates in Harima

神鋼ファウドラーは18日、10月をメドにステンレス製化工機の生産を播磨工場（兵庫県加古郡播磨町新島19）に集約すると発表した。生産増強・合理化、コストダウンを狙い。

同社の化工機部門は、ステンレス製とガラスライニング製の重合機など化学機器・装置、醸造用機器を製造。このうちステンレス製品については、これまで大型機器・装置を播磨工場、中小型機器を神戸の本社工場で分担生産してきた。しかし設備や技術の重複を避け、生産合理化とコストダウン、とくに円高に対処して海外市場での価格競争力を強化するため工場を統合することにしたもの。

計画によると、播磨工場（敷地 98 500 m<sup>2</sup>、既設工場 5 600 m<sup>2</sup>）内に床面積7 800 m<sup>2</sup> の新工場を建設する。新鋭設備の導入など既存部分を含めて生産システムを一新し、工場内搬送システムの合理化と製品の高付加価値化を図るもの。これによってステンレス製化工機生産能力は約4割増の年間250台（40 000ℓ重合機換算）になる。

日刊工業新聞（'89.1.19）

### 重層式冷却塔を拡販——地域冷暖房システム用30%省スペース化

#### Double-deck cooling tower for district heating & cooling system can reduce space more than 30%

神鋼ファウドラーは、省スペースで低ランニングコストを実現した重層式冷却塔を開発、本格的な受注活動に乗り出す。従来の大型冷却塔を2段に重ね合わせるもので、設置面積を30%低減できる。また大口径の高効率を採用することから、動力減少も実現している。同社実験センターで実証試験を行い、良好な結果を得たことから今年度から本格受注活動を展開する。すでに千葉・幕張メッセ向け地域冷暖房システム用の冷却塔を東京ガスから第1号機を受注した。同社では地域冷暖房システム市場、工場分野に普及を図る。

地域冷暖房システム構想が首都圏を中心に活発化してい

る。大型冷却塔は同システムに不可欠な装置だが、設置面積が大きく省スペース化ニーズが増加している。

同社は3年前から同システムの開発に着手、テストを進めてきたもの。重層式冷却塔は独立した冷却塔を上・下層に積み重ね、共用の送風機を最上部に設けた形をとっている。システムはシンプルな構造で省スペース化、ファン動能力の確認などデータ取りを終了している。すでに第1号機を62年3月に東京ガスから受注した、冷却塔6基、合計8 000冷凍トンのうち、重層式冷却塔は2基（1 500冷凍トン×2基）で、幕張メッセ向け地域冷暖房システムに導入する。受注金額は数億円。

同社ではプレート熱交換器を用いたクローズドシステムと組み合わせて、冷却塔システムを売り込む。一次冷却水（被冷却水）をクローズド化し、湿式冷却塔系の冷却水（二次冷却水）とはプレート熱交換を用いてコンタミの少ない、省メンテナンスを実現するもの。設備投資が活発な石油関連市場、紙パルプ、食品など売り込むとともに、地域冷暖房システムへも普及を図る。

化学工業日報（'89.4.6）

### 小型で熱効率高い——高粘性流体用熱交換機

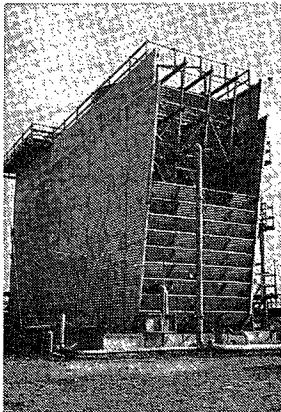
#### FRYTHERM compact and efficient heat exchanger for high viscous product

神鋼ファウドラーは28日スイス・フリーマ社製の高粘性流体用熱交換機「フリサーム」を輸入販売すると発表した。

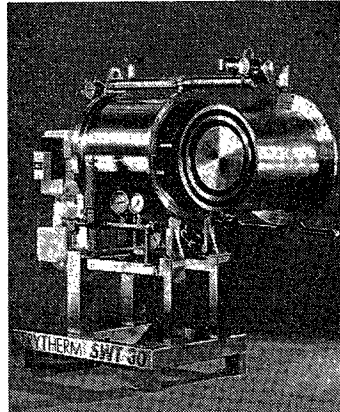
設置面積が従来の3分の1ですむほか、加熱・冷却時間も約30%短縮できる連続式熱交換機。食品、医薬品メーカーなどに初年度10セット1億円の売り上げを見込んでいる。

「フリサーム」は、フクレーパー翼を内蔵した同心円筒を組み合わせた多重構造。従来の熱交換機がシリンダーと軸から構成されているのに対し、コンパクトであるほか、有効伝熱面積が大きい。

冷却すると粘度が増大する製品や、冷却面で固まってしまう製品に対して効率のよい熱交換機として設計されており、回転するスクレーパー翼により製品の冷却（加熱）と混合が一度にできる。



実験冷却塔  
Test tower



フリサーム  
FRYTHERM

同社は昨年、フリーマ社と契約し、湿式破砕機「コロイド・ミル」、湿式微粒化機「コランダム・ミル」、真空乳化プラント「VME」を代理店販売してきた。

「フリサーム」は、5月8日から東京・晴海で開かれる「'89国際食品工業展」へ出展する。

日刊工業新聞（'89.4.29）

### 最大規模のABCシステム——信越化学工業から受注

**The largest ABC System to be delivered for Shinetsu Chemical Co., Ltd.**

神鋼ファウドラーはこのほど、国内最大規模の固定床式嫌気性廃水処理設備、ABCシステムを信越化学工業から受注し、同社直江津工場に納入することを明らかにした。受注額は4億円で、今月試運転ののち引き渡しの予定。

ABCシステムは、ABリアクター（メタン発酵槽）内部に嫌気性バクテリアを高濃度に保持し、有機的に浄化処理するもの。活性汚泥法に代表される好気性処理のように酸素を供給する必要がなく電力費を大幅に削減できるうえ、発生する余剰汚泥の量も好気性処理の約5分の1であるため、汚泥処分費を含めて廃水処理に要する運転費用を軽減できる。しかも発生するメタンガスをボイラーなどとして有効利用できる創エネルギー型システムであるなど多くの優れた特長をもつ。開発以来国内のみならず、世界的にも注目され、既に約20基の納入実績を有している。

今回信越化学に納入するシステムのABリアクターは固定床式としては国内最大規模のもので、同社のノウハウを駆使した極めて性能の優れた内容となっている。

同社では、今後とも国内外での経験、実績を基に石油化学、製薬、食品、紙パルプなどの分野に向け積極的に拡販していく考え。

水道産業新聞（'89.5.22）

### 展示会

#### Exhibition

#### '89 国際食品工業展

#### The International Food Machinery Exhibition

（社）日本食品機械工業会主催による国際食品工業展は、

5月9日から11日の4日間、東京・晴海の国際見本市会場で開催された。

この展示会は、食品の製造から加工、調理、保存などにいたるプロセスの最新機械、設備を一堂に展示する食品業界では最大のもので、12回目となった今回は国内外の402社が出展、期間中66473名の来場者があった。

当社は初参加であった昨年に引き続いて出展。

テーマを「自然の力と人の技」として掲げ、販売契約を結んでいるスイス・FRYMA社の各種ミル、乳化機、熱交換機を中心に化工機事業部の幅広い製品メニューを展示した。

各種ミルによる実演は来場者の関心を集め、本年2月に本社工場内に設置された「食品テストルーム」でのテストの依頼も相次いだ。

従来、食品分野への実績はグラスチール製品を中心としたアルコール飲料用の機器が主力であったが、今後は化学・医薬品分野で培った当社の高い技術力と多彩な製品群がますます高度化し多様化する食品工業界に大きく貢献することが期待される。

### 10月から「神鋼パンテック」に社名変更

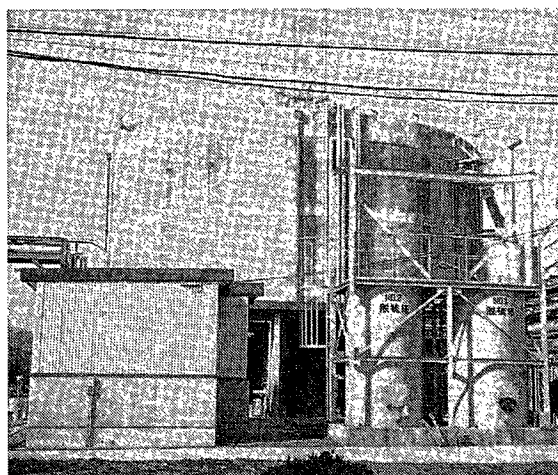
**Company name "Shinko Pantec Co., Ltd." will start on October 9.**

産業機械メーカー「神鋼ファウドラー」は31日、社名を「神鋼パンテック」に変更すると発表した。新社名は10月9日から実施する。

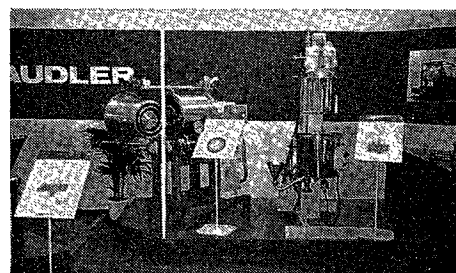
同社は1954年、米国の化学機器メーカー「米国ファウドラー」社と神戸製鋼所が共同出資して設立した。米国ファウドラー社の持ち株を神戸製鋼所がすべて買収したことや、来年末に技術の提携の期限が切れることから社名を変更する。新社名は神鋼はそのままにし、「すべて」を意味する「PAN」とテクノロジーを略した「TEC」を組み合わせた。これに合わせ、関連5社も社名を変える。

また、同社は西原社長が退任し、川口正・神戸製鋼所常務取締役（59）を新社長に内定、6月29日の取締役会で選任する予定。

毎日新聞（'89.6.1）



ABCシステム  
ABC System



↑  
← 当社小間  
Shinko-Pfaudlers  
exhibition room